



子育て支援センター

☎ 985-4151

主に就園していない子どもとその親を対象に活動していますが、内容によって小学生、就園児、妊婦なども参加できます。

1 月 活 動 案 内	行事	親子ふれあいサークル		フレンドサークル	育児わくわくサークル	保育交流サークル		
	内容	親子あそびの体験(リズムあそび・製作あそび・お話など)		親子の友だちづくりや自主活動の場	育児講座	保育施設でのあそび体験		
	コース名	ほほえみクラブ	ひまわりクラブ	フレンドクラブ	ママでスクール	まさきっこクラブ		
名 称 日・曜	北公民館	のびのび	11日(木)	バルーン(妊婦対象)	10日(水)	「ママのためのおはなし会2」 31日(水)10:00~11:30 講師：相原美紀 場所：松前町総合福祉センター2階集会室 内容：大人にも精神的効果があるといわれている、「読み聞かせ」を行います。心穏やかに過ごす時間の中で、優しさと感動を味わいませんか？ ※ 要予約(29日(月)まで) ※ 託児あり	松前保育所 10日(水)	
	17日(水)	くま(2歳以上)	12日(金)	(10:00~11:30)	ブックフレンドパーク			15日(月)
	東公民館	ファミリーランド	13日(土)	(10:00~15:00~)	年齢別1歳			18日(木)
	24日(水)	ひよこ(0歳)	19日(金)	ママパパキッズ編集会	22日(月)			
	西公民館	うさぎ(1歳)	26日(金)	リフレッシュ体操	23日(火)			
30日(火)	スクールキッズ	27日(土)	なかよし誕生日会	25日(木)				
場所	各公民館	松前町総合福祉センター				各保育所・幼稚園		
その他	<p>サークル活動に関すること</p> <p>◎主に、就園していない子どもとその親を対象に上の日程に従って活動を行います。</p> <p>○登録(随時受け付けています)をしてから各コースに参加できます。(内容によって、小学生、就園児、妊婦など参加可能)</p> <p>○時間の記入がない場合は、すべて10:00~11:30に実施します。内容は10:00~11:00(サークル活動)と11:00~11:30(自由あそび)とに分かれています。</p> <p>○予約や年齢・対象が記入されていない場合は、予約なしでどなたでも参加できます。</p> <p>○♥マークのあるところは、希望に応じて、お茶を飲むことができます。料金が必要。</p> <p>※ 詳しくは、子育て支援センター発行の毎月の活動チラシやHP、下記までお問い合わせください。 http://www.town.masaki.ehime.jp/koce/</p> <p style="text-align: right;">予約・問い合わせ ☎985-4151</p> <p>子育て相談</p> <p>○子育て相談「ちょっと聞いてコール」 毎週月~金曜日 9時~17時(左記時間外も可能) 電話、面談、家庭訪問など希望に応じて実施します。</p> <p>○ふらっと子育て応援隊 随時予約を受けて実施します。 サークルの運営や、親子遊びのアドバイスなど担当者が出かけていってお手伝いします。</p> <p>まさきファミリー・サポート・センター</p> <p>○育児の手助けを有料で行う会員登録制の組織です。</p> <p style="text-align: right;">子育て相談/まさきファミリー・サポート・センター共通 ☎960-3269</p>							

ふるさと歴史散歩②

義農作兵衛の事跡を訪ねるⅡ

(松前史談会レポート)

- ① 旧大洲街道、善正寺の向かい、矢野地藏の少し北側に「義農作兵衛終焉地」と標した石柱がある。もとは、正岡子規の外祖父である大原観山の筆になる明治3年作の木柱が近くにあったが、破損のため通りに面する場所に建て直したものである。元町長三原藤美の書である。翁は、この辺りで生まれ、この辺りで零細農民として懸命に働き、享保の大飢饉の犠牲者として餓死した。とはいえ、幸せな、希望に満ちた時期もあった。家族で力をあわせて農作業に励むかわら、おたに評判のよい丈夫な草鞋作りをしてためた金で、自分の地所を持つこともできた。2人の子に恵まれた。
- ② 大飢饉のため、平凡な百姓の家族が、次々と餓死したのは、享保17年(1732)のことだった。270年を過ぎた今も、綿々と語り継がれ、義農・偉人として尊崇される翁の死を、現代の私たちはどう受け止めるのか。道々、自分に問いかける。
- ③ 明治3年、郡の役人が、子孫の門に標札をだす。表には、「義農作兵衛裔」の6字を書し、裏には、その事由を誌した。

- ④ 明治4年の廃藩置県により、翁の子孫に与えられていた恩典はすべてなくなるが、明治14年、義農神社が勧請される。
- ⑤ 明治17年の津波のため神社は破壊され、再建されないまま時は過ぎたが、明治40年、八幡神社に合祀された。
- ⑥ 明治45年、前内相平田東助子爵の参拝を機に新たに建碑の議が起こり、大正2年、義農会の発会式と建碑式が同日に行われることになった。その碑は、松前の人たちが拠出した「塙団右衛門見返りの石」を用いたとあり、碑文は平田東助の選。
維れ信、維れ義、志にむくゆ廻ち敦し、
死して餐はず、裕を後昆に垂れ、
名教補あり、龜鑑永く存す
- ⑦ 昭和33年、大勢の人たちの力で神社は現在の地に新築され、義農公園も整備された。毎年4月23日、義農祭りは、町をあげて盛大に行われ、大勢の町民が参加している。



▲作兵衛終焉地跡



◀義農作兵衛之像(昭和33.4)
寄贈 来島船渠(株)社長 坪内壽夫
台字 県知事 久松定武書
製作 越智綱雄

問い合わせ

松前史談会(鷺野) ☎984-5439